

上海

中国市場最前線

『中国市場の現状と今後の可能性』

海外流通情報

鹿児島県上海事務所 所長 田中 省吾 氏

このたび、6月1日付で鹿児島県上海事務所に着任しました田中です。今後、本県特産品の魅力発信や認知度向上、現地の情報収集に努めてまいります。

中国は世界有数の巨大消費市場であり、景気減速や消費マインドの変化が見られるものの、高品質な日本産品への需要は依然として根強くあります。

一方で、本県からは焼酎や乾麺、お菓子、黒酢などの加工食品が輸出されている一方、お茶や農畜水産物は輸入規制の影響を受けています。また、制度変更や価格競争の激化など、市場環境は大きく変化しています。

しかし、中国市場は中長期的に本県特産品の販路拡大が期待できる市場です。今年3月に上海で開催された「上海ジャパンブランド」では、日本や鹿児島への関心の高さを改めて実感しました。



上海ジャパンブランド

7月には、九州各県と連携した体験型プロモーション「KYUSHU SAKE Month in Shanghai」を開催します。飲み比べ企画やスタンプラリーなどを通じて焼酎の魅力を発信し、新たなファンの獲得と販路拡大につなげてまいります。

今後も、現地での情報収集やマーケティング、バイヤーとの関係づくりを進めながら、「南の宝箱鹿児島」の魅力を総合的に発信し、中国市場での認知度向上と販路拡大に取り組んでまいります。

海外展開に関心のある事業者の皆様は、ぜひお気軽に協会へご相談ください。現地情報の提供や販路開拓をサポートします。

～令和8年度 通常総会を開催～

6月29日、令和8年度通常総会を開催し、令和7年度事業報告・決算および役員を選任についてご承認いただくとともに、令和8年度事業計画・収支予算についてご報告しました。

総会では、塩田理事長が「物産観光展や『かごしまの新特産品コンクール』の開催、ECサイト『かごしま特産品ねっと』『かごいろ』や鹿児島ブランドショップを活用した販売促進などを通じ、県産品の販路拡大と需要喚起に取り組んできた。今後も、豊かな食や伝統的工芸品など鹿児島の魅力を国内外へ発信し、本県産業の『稼ぐ力』の向上につなげていきたい」と挨拶しました。



塩田理事長による開会挨拶

今年度も、物産観光展や輸出商談会、鹿児島ブランドショップ、「かごいろ」などを通じて、会員の皆様の販路拡大と商品PRを積極的に支援してまいります。ぜひ協会事業をご活用いただき、お気軽にご相談ください。

中国・重慶市における鹿児島県産工芸品の販路拡大への取組み

当協会では、鹿児島県上海事務所と連携し、中国市場での県産工芸品の販路拡大に取り組んでいます。

工芸品分野では、2021年から中国・重慶市の「重慶青山SQUARE」で鹿児島県産工芸品の常設展示販売を行っており、今年度も4月18日から5月9日まで「第5回鹿児島工芸品フェア」を開催しました。

フェアでは、オンライン商談や窯元訪問を通じて選定した薩摩焼をはじめ、薩摩錫器、ガラス製品、パール製品など約40点を展示・販売しました。また、中国で広く利用されているコミュニケーションアプリ「WeChat」を活用した情報発信も行い、薩摩焼の茶器セットやカップ類は、デザイン性や使いやすさが来場者から高い評価を受けました。

フェアに合わせ、在重慶日本国総領事館では、荒木陶窯が開発した「薩摩焼茶器セット」のお披露目会と、十五代・荒木秀樹氏による陶芸教室を開催しました。陶芸教室には定員30名に対し110名の応募があり、薩摩焼への関心の高さがうかがえました。参加者からは、「薩摩焼への理解が深まった」「陶芸体験が楽しかった」などの感想が寄せられ、茶器セットも高い評価を得ました。

現地では、若年層にも手に取りやすい価格帯や、日常使いしやすいデザイン性の高い商品のニーズが高まっています。当協会では、こうした市場ニーズを踏まえながら、中国市場での販路拡大を引き続き支援してまいります。

海外展開に関心のある事業者の皆様は、ぜひお気軽に当協会へご相談ください。現地情報の提供や販路開拓をサポートします。



重慶青山SQUAREでの
鹿児島工芸品フェア



荒木陶窯による陶芸教室

特産振興支援員奮闘記

地域の宝を未来につなぐ

特産振興支援員 工芸品担当 岡山 秩子

4月1日より工芸品を担当しております、特産振興支援員の岡山です。

これまで27年間、小売業界でバイヤーやスーパーバイザー（SV）、製造、販売など幅広い業務に携わり、マーケットの最前線で経験を積んできました。

工芸品の分野は日々勉強中ですが、現場で培った「市場の視点」を活かしながら、事業者の皆様へ寄り添い、販路拡大や商品づくりのお手伝いができればと考えています。

本場大島紬や川辺仏壇、薩摩焼、薩摩切子など、鹿児島の伝統的工芸品には、長い歴史の中で受け継がれてきた技術と魅力があり、大きな可能性を感じています。

物価高騰や原材料不足など、産地を取り巻く環境は厳しい状況ですが、時代のニーズを取り入れながら、事業者の皆様とともに新たな販路や商品づくりに取り組んでまいります。

「こんなことを相談してもいいのかな」と思うことでも構いません。皆様にとって身近な相談相手として、お気軽にお声掛けください。どうぞよろしく願いいたします。



大丸福岡天神店「第5回南の宝箱 鹿児島展」開催！

鹿児島県と当協会では、4月8日(水)～13日(月)の6日間、大丸福岡天神店で「第5回南の宝箱 鹿児島展」を開催しました。(工芸品9社、食品40社が出展)

九州最大の消費地・福岡を舞台に「南の宝箱 鹿児島」をテーマとして、県産農林水産物を活用した食品や人気グルメ、焼酎、かごしま茶、伝統的工芸品など、鹿児島ならではの多彩な特産品を紹介しました。

会場では、大丸福岡天神店限定商品や「かごしまの新特産品コンクール」入賞商品、島々の特産品なども販売し、多くのお客様に鹿児島の新たな魅力を発信しました。また、オープニングセレモニーやテレビ生中継、SNSでの情報発信、お楽しみ抽選会なども実施し、会場は連日多くの来場者で賑わいました。

販売面では、限定商品や人気商品のほか、郷土菓子、黒豚や海鮮の弁当、さつま揚げ、焼酎、かごしま茶などが好評を博しました。工芸品では、本場大島紬の洋装品や薩摩切子の高額商品が成約するなど、伝統的工芸品への高い関心もうかがえました。

百貨店関係者からは「鹿児島展の認知度が着実に高まっている」との評価をいただき、来場者からも「毎年楽しみにしている」「新たな鹿児島の魅力を発見できた」といった声が寄せられました。

当協会では、今後も県内外の百貨店や物産展を通じて、会員の皆様の商品を広くPRし、販路拡大を支援してまいります。出展に関するご相談も、お気軽にお問い合わせください。



出展者を激励する寺田副知事



買物客で賑わう会場

～鹿児島ブランドショップ東京店情報～ 「かごしま遊楽館31周年記念誕生祭」を開催

かごしま遊楽館では、5月30日・31日の2日間、「かごしま遊楽館31周年記念誕生祭」を開催しました。館内を巡るスタンプラリーや空くじなしの抽選会などを実施し、多くのお客様に鹿児島の魅力を楽しんでいただきました。

1階では限定商品の販売、2階では県産食材を使った特別メニューや焼酎の飲み比べを実施し、各フロアが連携して誕生祭を盛り上げました。その結果、これまで利用機会の少なかったフロアにも多くのお客様に足を運んでいただき、館内全体の魅力を知っていただく機会となりました。

3階の鹿児島ブランドショップ東京店では、(株)南舟によるマベパールブローチ製作体験や、ぐりぶーストラップ作りワークショップを開催しました。特にマベパールブローチ製作体験は、「自分で作れる特別感」が好評で、多くの参加者から「思い出に残る体験になった」「また参加したい」といった声が寄せられました。

ブランドショップ東京店では、商品の販売だけでなく、ワークショップや実演など体験型イベントを通じて、鹿児島の工芸品や特産品の魅力を発信しています。今後も首都圏でのPRや販路拡大を積極的に進めてまいりますので、商品販売やイベント開催などをご検討の際は、ぜひお気軽にご相談ください。



ぐりぶーストラップ作り



(株)南舟によるワークショップ

協会事業を、ぜひ販路拡大や商品PRにご活用ください！

【開催のお知らせ】

1. 山形屋「第17回 南の宝箱 鹿児島ふるさと物産展」

鹿児島県と当協会では、県産品の魅力発信と需要拡大を目的に、「第17回 南の宝箱 鹿児島ふるさと物産展」を開催します。

会場には、県内各地の特産品や素材を活かした多彩な商品が並ぶほか、「山形屋オリジナル限定品」や「数量・会場限定商品」など、この催しならではの企画も用意しています。

県内外へ鹿児島の魅力を発信するとともに、出展事業者の販路拡大につながる催しです。ぜひ、ご来場ください。

【会期】 令和8年8月18日(火)～24日(月) 7日間

【会場】 株山形屋 6階大催場 ほか

2. 東武百貨店池袋店「大九州展」

首都圏で本県特産品をPRするため、「大九州展」に出展します。

今回は「スタミナ」と「クール」をテーマに、九州各県の特色ある商品が集まります。当協会では、本県産品の魅力を発信し、更なる販路拡大につなげます。

首都圏での販路拡大を目指す絶好の機会として、本県産品の魅力を広く発信します。

【会期】 7月29日(水)～8月4日(火) 7日間

【会場】 東武百貨店池袋店 8階催事場

【参加・出品募集】

1. 「かごしま工芸品フェア(仙巖園・センテラス天文館)」 出展者募集

インバウンドをはじめ、多くの来場者へ鹿児島の伝統的工芸品をPRする「かごしま工芸品フェア」を開催します。商品の販売だけでなく、体験メニューや新商品のPRにもつながる機会です。海外展開や新たな販路開拓に関心のある事業者の皆様は、ぜひご参加ください。【申込期日：7月6日(月)】

<仙巖園>

【会期】 9月12日(土)～13日(日) 10時～16時30分

【会場】 仙巖園内 伝統文化体験施設 1階入り口及び2階多目的ホール

【出展条件等】 下記より実施要領・出展申込書をダウンロードいただき、詳細をご確認ください。

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/senganen.pdf>

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/senganen.doc>

<センテラス天文館>

【会期】 11月6日(金) 10時30分～16時30分

【会場】 センテラス天文館 1階イベントスペース センテラススクエア

【出展条件等】 下記より実施要領・出展申込書をダウンロードいただき、詳細をご確認ください。

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/centerrace.pdf>

<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/centerrace.doc>

【参加・出品募集】

2. 「2026かごしまの新特産品コンクール」出品募集

新たな県産品づくりを応援する「2026かごしまの新特産品コンクール」を開催します。受賞商品は、県内外へのPRや商談会など、販路拡大につながる機会にもつながります。皆様の自信作をぜひご出品ください。
なお、鹿児島県、鹿児島市のホームページでも情報公開、募集開始しています。

【会期】 令和8年10月20日(火) 9:00~16:00
【会場】 鹿児島サンロイヤルホテル2階(太陽の間、開間の間、高隈の間)
【実施要項】 <https://www.pref.kagoshima.jp/af07/2026shin-tokusanhin/2026shin-tokusanhin.html>

3. 「南の宝箱鹿児島輸出商談会2026」参加募集

海外販路の開拓を目指す県内事業者と国内外のバイヤーを結ぶ輸出商談会を開催します。輸出に興味がある方や海外展開を検討されている方にとって、新たな販路開拓の機会です。初めての方もお気軽にご相談ください。

【会期】 令和8年10月13日(火) 午前9時~午後6時 ※10月14日(水)は産地視察
【会場】 鹿児島サンロイヤルホテル2階(太陽の間、開間の間、高隈の間)
【URL】 <https://www.kibc-jp.com/new/shodankai/5957>

4. 「かごしま伝統の技」伝承事業「かごしまの手仕事学校」体験者募集

当協会では、小学生とその保護者等を対象に、県内工芸品の製作体験や職人との交流を通じて、その魅力を体感できる「かごしまの手仕事学校」を開催します。本場大島紬や川辺仏壇、薩摩焼、薩摩切子など、鹿児島の伝統工芸を楽しく体験できます。
7月4日(土)から体験者を募集しますので、下記URLよりお申込みください。

【会期】 8月7日(金)~9日(日) 10:30~16:45
【会場】 マルヤガーデンズ 4階ユナイトメントガーデン ほか
【URL】 <https://www.maruya-gardens.com/kg2026/>



【ご協力をお願い】

1. 「西郷隆盛」関連商品の情報提供にご協力ください

令和9年度に「西郷隆盛生誕200年・没後150年」の節目を迎えます。当協会では、西郷隆盛に関連する商品の情報を収集し、鹿児島ブランドショップやECサイト「かごいろ」での特集などを通じて広く発信する予定です。ご提供いただいた情報は、商品の魅力発信や販路拡大につながる取組に活用させていただきます。該当する商品がございましたら、ぜひ情報提供にご協力くださいますようお願いいたします。
【提出期限：8月19日(月)】

※様式は下記よりダウンロードください。
<https://www.k-p-a.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/saigou.xlsx>